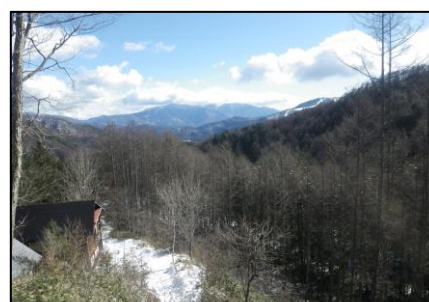


令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木祖村景観形成推進事業
事業主体 (連絡先)	木祖村 商工観光課 (0264-36-2001)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,037,980円(うち支援金:4,803,000円)

事業内容

1. 観光地等眺望をよくするために支障木等を伐採し、過去の景観を取り戻し観光客の増加を図る。
 - ・ 観光施設の支障木伐採
しらかば平別荘地周辺の危険木を伐採
 - ・ 木曽川沿いの支障木伐採
国道19号から木曽川が望めるよう支障木を伐採
 - ・ 大原斜面環境整備事業(桜の名所づくり)
味噌川ダム付近の雑木の伐採と地拵え



支障木を伐採した別荘地

【目標・ねらい】

眺望を良くし地域住民に対するイメージアップと観光客の増加を図る。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

観光地及び木曽川沿いの眺望を損ねていた箇所を支障木を伐採することにより、かつての風景を取り戻すことができ別荘住民及び観光客のイメージアップが図れた。

大原斜面環境整備(桜の名所づくり)については、計画どおり最終年度を迎え、桜の名所づくりの環境が整った。

※自己評価【 B 】

【理由】

支障木や危険木伐採は、今後更に進めていかななくてはならない。イメージアップが図られ、今後も継続的な実施が必要。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

観光地等の支障木伐採を実施したことで、かつての風景を取り戻すことが可能となる。今後も継続的に実施することが必要で、観光地及び村全体のイメージアップを図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある